

## 平成22年度 一般会計補正予算審査特別委員会での

## 主 な 質 疑

- ◎：実質収支約5億3千万円のうち未計上の残り4億3千万円の繰越金が出てくるが、基金の積立をするより景気浮揚策に有効活用を図るべきではないか。
- ▲：約4億4千万円前後と予想より繰越金が多かった、必要とあれば予算に充当する。  
文教施設の整備の中で総額38億円の他に中学校のプールを小中学生に併用して利用できるように改修するには1億円かかる。今後の計画のために基金を積み立てたい。
- ◎：健康増進施設管理費の窓口業務は、今までどう取り扱っていたのか。
- ▲：昨年度から窓口管理業務を町立湯沢病院に委託している。今回予算の計上漏れがあった。
- ◎：住宅リフォーム補助金事業について、先の協議会では10万円の補助金では景気浮揚策にはならないとして、増額を求めたがどうなったのか。
- ▲：他市町村同様、幅広くより多くの方に利用していただくため、補助金額を10万円とした。税の滞納者は対象外になる。
- ◎：住宅リフォーム支援事業について、津南町が昨年からはじめた事業が大好評、4月1日からの受付を開始から申し込みが殺到し23日に事業費がいっぱいとなり105戸で締切った。その後も問い合わせが続いたそうである。湯沢町の場合は、業者や町民にどう宣伝をするのか。
- ▲：業者を全員呼ぶのか、業界の代表の方を呼ぶのか、検討しているところである。7月1日の説明会の他、広報と町のホームページで知らせたい。
- ◎：文教施設検討費の関連で、今統合に向けて進んでいる。スムーズに統合を図るために今の小学校の友達が一緒に、独立行政法人国立青少年教育振興機構が行っているこども夢基金の助成活動の夢の課外授業がある。野球選手などを講師に、著名人からボランティアで指導していただく事業である。この事業を積極的に活用する気はあるか。
- ▲：夢の課外事業について、今後どの程度の持ち出しになるか調査した中で、今後推移の中で活用を考えていきたいと思う。当面は2か月に1回の校長会の4月の会に26年度4月開校までに、どこまでソフトランディングか、学習面スポーツ活動その他、交流事業をどの程度できるか、6月に具体的に協議してスムーズに移行するように努めたい。
- ◎：民俗資料館の雪国館をバリアフリー工事した後に、指定管理するとの考えを委員会で示したが、いまだ予算化していない、今後の取り組み方は。
- ▲：指定管理者制度に移行するには、バリアフリーは必要であろうとの話を内部で検討している。6月補正には残念ながら内容的に検討の余地があることから、予算化できなかった。
- ◎：三俣道の駅の維持管理を含めた町内の状況はどうなっているのか。
- ▲：三俣はここにきてやっと事業化になりつつある。とりあえず道の駅は今年度用地買収、実施設計を予定している。ここの維持管理を地域からお願いしたいと思っている。
- ◎：ジュニアスキー選手育成活動費補助金54万円はどういう理由からか。
- ▲：ジュニア育成の補助金は、町の単独費として今年が200万に減った。このため県の補助金申請した結果54万円いただくことになった。
- ◎：マグナからの招待状の中身はどういうのか見せてもらいたい。いままでの枠から一歩踏みだして民間からの交流を進める考え方はないか。
- ▲：昨年から今年のアメリカ独立記念日に湯沢町からパレードに参加してほしいと口頭で招待を数度ありその礼儀に應えるため、7月1日に教育長と総務課職員2名を考えている。今後の交流を議員、町民の色々な面で協力を得て一緒に行ってもらうことも考えていかねばならないと思っている。
- ◎：町はいつ頃姉妹都市提携を考えているのか。
- ▲：町民の気運が高まるまで、ホームステイの交流を続けると一般質問に対して答えている。私からはいつとは言えない。